

令和 7 年度指定管理者事業報告書①

令和 8 年 4 月 2 4 日

佐賀県知事 山 口 祥 義 様

住 所 伊万里市立花町 1355-1
団 体 名 伊万里市
代表者氏名 伊万里市長 深 浦 弘 信

佐賀県人工海浜公園条例施行規則第 10 条、イマリンビーチの管理運営に関する協定書第 15 条第 1 項及び令和 7 年度イマリンビーチの管理運営に関する年度協定書第 2 条中の別記「イマリンビーチ管理運営に関する業務仕様書」4 の (2) の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 施設の名称
イマリンビーチ
- 2 管理の年度
令和 7 年度
- 3 管理の期間
令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- 4 管理業務の実施状況
別紙のとおり
- 5 利用実績（利用者数、利用団体数、利用料金収入、利用拒否等件数及び理由）
別紙のとおり
- 6 利用状況分析報告書
別紙のとおり

管理業務の実施状況					
イマリンビーチの管理については、黒川区長会と雇用した管理人・監視員とともに年間を通して良好な管理運営を行った。					
利用実績					
年 月	利用者数 (人)	利用団体数 (団体)	利用料金 収入(円)	利用拒否 等件数	利用拒否等理由
R7. 4	100	1			
R7. 5	12	2	8,000		
R7. 6	292	4			
R7. 7	2,572		276,450		
R7. 8	2,297		280,900		
R7. 9	69	4	8,000		
R7.10	115	4			
R7.11	39	4			
R7.12	91	5			
R8. 1	410	1			
R8. 2	12	2			
R8. 3	24	4			
計	6,033	31	573,350		
利用状況分析報告書					
令和6年度はSAGA2024が開催されたこともあり、利用者数は昨年度と比べて減少した(▲6,237人)。令和7年度の利用として6月にビーチバレーの高校選手権大会の開催や、8月に陸上競技のトレーニングに使用されるなど、スポーツを目的とした使用があった。					

令和 7 年度指定管理者事業報告書②

令和 8 年 4 月 2 4 日

佐賀県知事 山 口 祥 義 様

住 所 伊万里市立花町 1355-1

団 体 名 伊万里市

代表者氏名 伊万里市長 深 浦 弘 信

佐賀県人工海浜公園条例施行規則第 10 条、イマリンビーチの管理運営に関する協定書第 15 条第 1 項及び令和 7 年度イマリンビーチの管理運営に関する年度協定書第 2 条中の別記「イマリンビーチ管理運営に関する業務仕様書」4 の (2) の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 施設の名称

イマリンビーチ

2 管理の年度

令和 7 年度

3 管理の期間

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

4 収支決算書

別紙のとおり

5 自己評価

別紙のとおり

収支決算書				
収入の部 (単位：円)				
科 目	予算額	決算額	増減額	摘要（決算額積算基礎）
施設貸付料	583,866	552,000	△31,866	休憩室利用料 205,000 円 シャワー利用料 347,000 円
ビーチ使用料	19,800	21,350	1550	自動販売機設置料 15,300 円 露店出店料 6,050 円
収入計	603,000	573,350	30,316	予算の収入計は 1,000 円未満切り捨て
支出の部 (単位：円)				
科 目	予算額	決算額	増減額	摘要（決算額積算基礎）
需用費	507,000	491,061	△15,939	消耗品費、光熱水費、 修繕料、医薬品材料費
役務費	544,000	469,400	△74,600	通信運搬費、手数料、賠償 責任保険料
委託料	8,093,000	8,092,643	△357	ビーチ管理業務等委託料
使用料・賃借料	1,281,000	1,280,400	△600	ビーチ管理施設等借上料
原材料費	5,000	4,140	△860	施設補修用資材
負担金	8,000	0	△8,000	防火管理講習会負担金
支 出 計	10,438,000	10,337,644	△100,356	
収支差額	△9,835,000	△9,764,294		

自己評価

(1) 利用者満足度調査の実施

アンケート調査を実施した結果、施設の整備状況において満足度が高いことが分かった。これは地元黒川町の献身的な管理の賜物であり、次年度も地元と密に連携しながら、引き続き安全で安心な施設を目指し運営していきたい。

また、昨年度に比べてアンケートの回答数が減少していた。回答数の向上のため、令和7年度からアンケートに **QR** コードを載せ、**WEB** 回答もできるようにしたが、**WEB** 回答数は **0** であった。そのことから、持ち帰って回答する方法より、現地で回答する取り組みを強化するなど、回答数向上に努めていきたい。

(2) 施設の管理運営に対する自己評価

遊泳期間中は、地元区や警察など関係機関との連携を十分に図り、事故や事件もなく安全で安心な施設の運営を果たすことができた。令和8年度も、安全面には最新の注意を払い、関係機関と協力して施設を運営したい。